

主要生命保険会社の令和6年9月期決算の概要

1. 損益の状況（単体）

- 保険料等収入は、国内金利の上昇により、一時払円建て保険の販売が増加したことなどから、前年同期に比べ増収。
- 中間純利益（純剰余）は、内外株式の増配などによる利息及び配当金収入の増加を受けた基礎利益の増益に加え、有価証券売却損益の改善などに伴いキャピタル損益が増加したことなどから、前年同期に比べ増益。

（単位：億円）

	令和4年9月期	令和5年9月期	令和6年9月期	前年同期比
保険料等収入	157,051	172,592	187,585	14,992
基礎利益	14,597	17,528	20,367	2,839
キャピタル損益	600	▲2,207	2,680	4,888
臨時損益	▲5,383	▲3,637	▲4,921	▲1,284
特別損益	▲314	▲1,078	▲2,734	▲1,656
中間純利益（純剰余）	6,414	7,496	10,946	3,449

2. 健全性の状況（単体）

- ソルベンシー・マージン比率は、国内株式の資産運用リスク相当額の減少を主な要因として、前年度末に比べ3.4%ポイント上昇。

（単位：%）

	令和5年3月期	令和6年3月期	令和6年9月期	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	942.0	930.8	934.2	3.4Pt

（注）日本生命、第一生命、明治安田生命、住友生命、太陽生命、大同生命、富国生命、大樹生命、朝日生命、ソニー生命、ジブラルタ生命、アクサ生命、アフラック生命、メットライフ生命、東京海上日動あんしん生命、第一フロンティア生命、三井住友海上プライマリー生命、プルデンシャル生命、三井住友海上あいおい生命、ニッセイ・ウェルス生命、かんぽ生命の21社を集計。